

第 64 回日本神経化学会大会・「奈良宣言」

日本神経化学会は、分子・物質・細胞そして疾患をキーワードとして、基礎－臨床の緊密な連携と手厚い人材育成を特徴とし、開設の 1957 年以来、神経研究を牽引する「先導者」としての役割を担って来ました。

一方、神経研究にも、Optogenetics、ゲノム編集、シングルセル解析、AI 技術など新しい技術が怒涛のように押し寄せて来ており、研究の手法やモダリティーが大きく変わっています。

この様な状況の中にあっても、本学会は、その発足当時からのテーマと伝統とスピリッツ、そして仲間達を大きな羅針盤として、分子・物質・細胞そして疾患を追い続け、それに立脚した人材育成を武器に、「ウサギとカメ」のカメが持つ実直さを併せ持つ「先導者」として、神経研究の新しい地平線を目指すことを宣言致します。(奈良宣言)

理事長・岡野 栄之： 大会長・和中 明生 (2021 年 10 月 1 日)